

授業科目 老年看護学実習

【担当教員名】 梨本光枝 木部美知子 恩地裕美子	対象学年	3~4	対象学科	看護
	開講時期	後期・前期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	180

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

- 1・老年期にある対象の発達課題および特性を理解し、さまざまな健康レベルや状況下における総合的な支援システムおよび看護の役割・機能を実践を通して学ぶ
- 2・老年期にある対象の健康障害の特性を理解し、QOLに視点をのいた日常的看護援助を学ぶ

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- 1・老年期にある対象の老化の状態が個人によって異なることを理解し、健康上・生活上の高齢者像がとらえられる
- 2・老年期にある対象のQOLを維持する日常生活に視点をのいた援助が理解できる
- 3・老年期にある対象の身体的、精神的機能低下により障害をきたしている高齢者の日常生活援助が理解できる
- 4・老年期の健康障害との関連について理解することができる
- 5・老年期の個別の健康問題に関する看護問題について理解することができる
- 6・老年者の個別の看護問題解決に対する援助の評価と家族介護力と介護サポートについて理解することができる
- 7・老年者とその家族を支援する保健・医療・福祉の連携を理解し、施設・在宅支援のサービスシステムを理解する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1・学内オリエンテーション 2・病院・病棟オリエンテーション・福祉施設オリエンテーション 3・病棟実習（2週間） 1）受け持ち患者を持ち実習を行う 2）患者の健康障害をアセスメントし計画立案をする 3）看護援助を実践する 4）記録用紙に必要事項を整理する 5）P B C 6）一連の援助の評価 4・実習のまとめ 5・福祉施設実習（2週間） 1）老人保健施設 2）特別養護老人ホーム 3）グループホーム 4）地域包括支援センター 5）県立津川病院 福祉施設実習は各グループからさらに2～3人編成での実習となる 1）～5）実習のスケジュールは実習担当教員が調整する	1~7	各実習グループを編成し病院・福祉施設で実習を行う 老年看護学教員全員

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	老年看護学実習要項・プリント類			

【評価方法】 出席状況 20% 実習目標・内容到達状況 60% レポート 20%	【履修上の留意点】
---	-----------

看護学 専門